

本の品質は
どのように作られるのか
～プロマネとして書籍編集者がしていること

傳 智之 (でん ともゆき)

2023/03/10 JaSST'23 Tokyo@オンライン

■お話しするのは こんな人です

- 2002年に技術評論社に新卒で入社、書籍編集20年
- 500円台～5000円台までIT入門／専門書、ビジネス書などを担当

吉田 拳
YOSHIDA KEN

あちこち寄り道して勉強しないで大丈夫。
成果を出すための「最小限」を教えます。

たった1日で 即戦力になる Excelの 教科書

[増強完全版]

技術評論社



急いで作業しなくても、
仕組みを作れば
ラクできます

COUNTA
SUMIF
COUNTIF
VLOOKUP

急成長を導く マネージャーの型

地位・権力が通用しない時代の
“イーブン”なマネジメント

長村 禎庸

数字の話ばかりで、
仲間も自分も
疲弊させてしまう。
メンバーを犠牲にして
残した成果は、
持続性のない、偽物ではないか？

マネージメントは
経験でも
センスでもない、
フレームワークを
実行するのみ

数々の失敗も学び、
小さなベンチャー企業を指導してきた
プロフェッショナルマネージャーのノウハウを著公開

沢渡 あまね
Sawatsuki Amane

新時代を生き抜く 越境思考

組織、肩書、場所、時間から
自由になって成長する

新たな 現状維持では衰退するだけ
“勝ちパターン”を創ろう

複業・女性活躍・ワーケーション・地方創生・DX
パラレルキャリア タイパバーシティ

「いままでのやり方に限界を感じている」
すべての人へ

技術評論社

わたしが
知らない
スゴ本は、
きっと
あなたが
読んでいる

Dain
SUGO

「本を探すな、人を探せ」
「本屋は出会い系、図書館は見合い系」
「読書本から盗んだ技術で、
その読書本の論理破綻や誤読を探せ」

人生は短く、読む本は多い——
「運命の1冊」をモノにする方法とは？

日本最高峰の書評プロガー初の著書

■品質の高い本≡“いい本” では、その定義は？

- 「いい」は人によっても違う
- お金が得られることがすべてではないが、
お钱が入らないと事業を継続できない

■ 「ためになる×お金になる」の 最大化を目指す

- 読者
- 著者
- デザイナー、
イラストレーター、
写真家
- 印刷所、紙商
- 書店、取次
- 版元（自社）
- 編集者（自分）

■みんなの力で品質をつくる

- 1人では形にできない
- 価値の源泉は自社（自分）の外にある
- 自分がすべてをコントロールできるわけではない

■プロマネ（PjM／PdM／PgM） としての編集者

- 1冊の本の制作
→プロジェクトマネジメント
- 1冊のアップデート／売り伸ばし
→プロダクトマネジメント
- 複数冊の進行／相乗効果づくり／シリーズ展開
→プログラムマネジメント

■5つの観点でお話しします

- ①価値の源泉を探す
- ②時間と向き合う
- ③コンテンツを磨く
- ④魅力を伝える
- ⑤価値を育てる

- ①価値の源泉を探す
- ②時間と向き合う
- ③コンテンツを磨く
- ④魅力を伝える
- ⑤価値を育てる

■企画に必要なもの

- ・ 著者
- ・ テーマ・タイトル
- ・ 想定読者
- ・ 体裁（判型／本文の色数／ページ数）
- ・ 刊行時期
- ・ 価格
- ・ 初版部数
- ・ 制作費および採算
- ・ 概要
- ・ 目次（構成）
- ・ デザインイメージ
- ・ 類書の売れ行き
- ・ 棚
- ・ 売り方

■ 「作るべき品質」を 決めるのは難しい

- ・ 求められるものは自明ではない
- ・ すべてを把握するのは難しい
- ・ 前例を踏襲すればうまくいくとは限らない

■ ネタを探すな、人を探せ

- 人がいないとはじまらない
- 著者 = 課題 + 解決策を知っている
- 個性は他人が“発想”できない
- 言語化できるか、熱意を行動で示せるか

■方向性を示す

- なかなか知られていないこと／形にできないことを伝える
- 難しいことをやさしく伝える
- できるだけ先々まで役立つことを伝える
- モチベーションを高めるように伝える

■ 方向性を共有できたと思っても、
あとから食い違いが起こることも

- 話をきちんと理解できていなかった
- 考えが変わってしまった
- 書こうとしたらうまく表現できていなかった

■ 「はじめに」を最初にまとめて 羅針盤／基点にする

- ・ 概要ではなく読者の琴線に触れられるか
 - 身につまされる問題・悩み
 - 「こうありたい」と思える理想
 - 驚くような事実
 - 興味をそそる謎・疑問
- ・ そのうえで工夫、著者の特徴、強み、想いを

■小さく試せる場をつくる

・ Cassandraのはじめ方 一手を動かしてNoSQLを体感しよう
<http://gihyo.jp/dev/serial/01/cassandra> ※2010年

・ Javaはどのように動くのか ~図解でわかるJVMの仕組み
<http://gihyo.jp/dev/serial/01/jvm-arc> ※2013年

・ Android Studio最速入門 ~効率的にコーディングするための使い方
http://gihyo.jp/dev/serial/01/android_studio/ ※2013年

- ①価値の源泉を探す
- ②時間とコストと向き合う
- ③コンテンツを磨く
- ④魅力を伝える
- ⑤価値を育てる

■時間とともに品質は変わる

- 求められるものは変わっていく
- 内容は劣化していく
- 競合も出てくる（相対的な価値が落ちる）
- 「一番乗り」は大事な品質になりうる

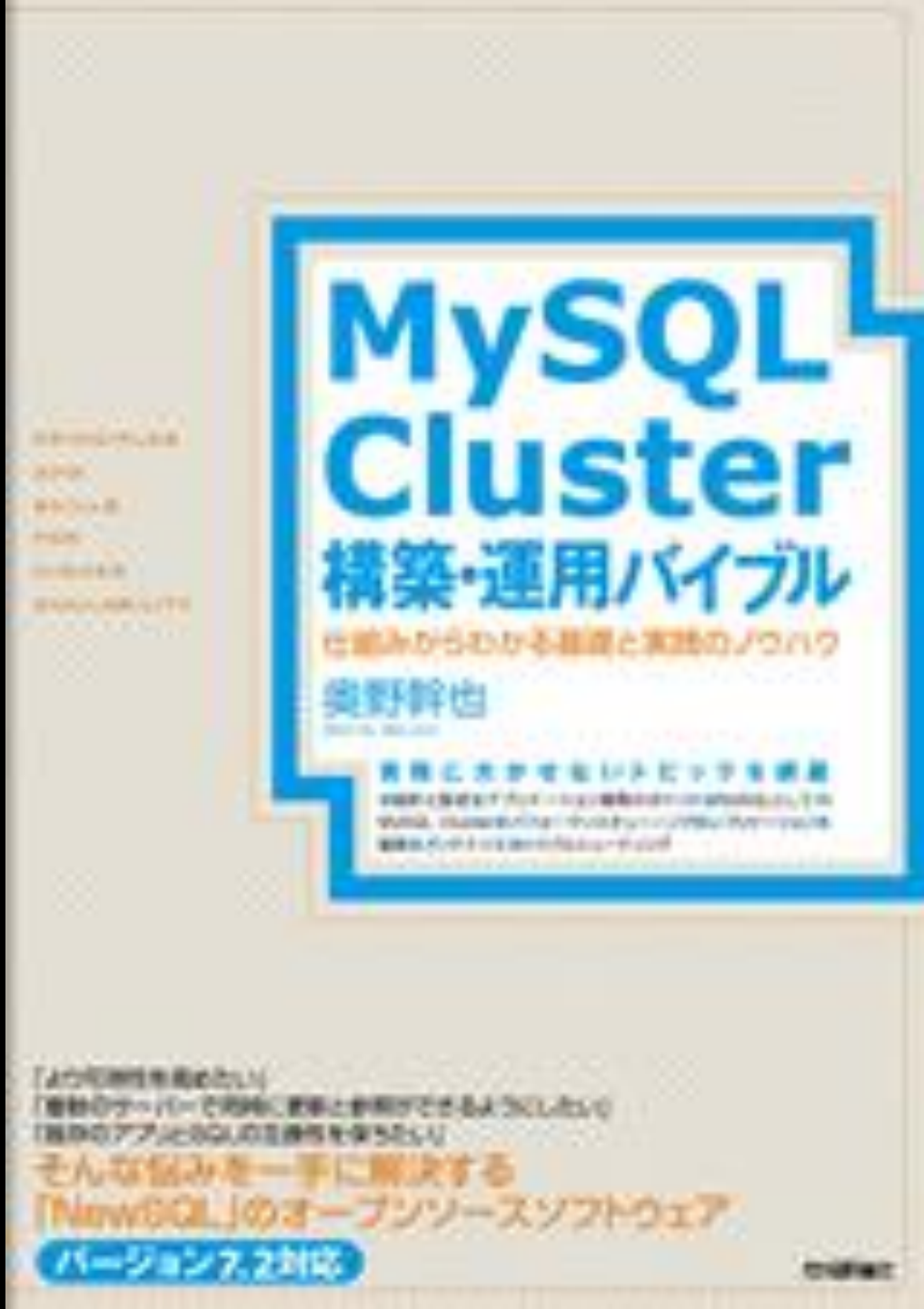
■ 「いつ出せるか？」が 不確実な場合も

- 出版は超属人的プロジェクト
ハネムーンナンバー=1（著者）も
- 本業ではない = 執筆が最優先ではない
- 時間を拘束できない
- 編集者も会社に左右される

■ オンリーワンに賭ける

● MySQL Cluster構築・運用バイブル

- ・ 第一人者でダメなら後悔しない
- ・ トレンドの追い風を意識しつつ過大に見積もらない



■ 割り切ることで
陳腐化を最小限に

● 10年つかえるSEOの基本

- ・ 2015年刊行からまだ通用
- ・ 対話形式で136p



■ タイミングが来るまで待つ

● わたしが知らないスゴ本は、
きっとあなたが読んでいる

- ・ 最初の相談から13年
(ブランクも長い)
- ・ 陳腐化しにくい

わたしが
知らない

スゴ本は、

きっと

あなたが

読んでいる

Dain



“本を探すな、人を探せ”
“本屋は出会い系、図書館は見合い系”
“読書本から盗んだ技術で、
その読書本の論理破綻や誤読を探せ”

研
技術評論社

【特別付録】
「読書は毒書」
禁断の劇薬小説
リスト

人生は短く、読む本は多い——
「運命の1冊」をモノにする方法とは？

日本最高峰の書評ブロガー初の著書

■ ゆとりを作るために プロジェクト（企画）を増やす

- ・ 年間で収益の辻褄を合わせる
- ・ 着実に利益を出せそうな企画、チャレンジ企画のポートフォリオを考える
- ・ 余裕があれば、微妙な企画はスルーできる／微妙な企画も拾える余力が生まれる)
- ・ 著者は成長する（品質が熟成する)

- ① 価値の源泉を探す
- ② 時間と向き合う
- ③ コンテンツを磨く
- ④ 魅力を伝える
- ⑤ 価値を育てる

■ 「引き出す」の限界

- ないものは引き出せない
- 鍛えて「強み」に至るまで伸ばすか、付加するか
- 気づいてもらおう、思い出してもらおう、考えてもらおう

■客観性を意識したうえで 主観を恐れず捉える

- ①まちがってる
- ②いない
- ③たりない
- ④つながっていない
- ⑤そろってない
- ⑥わからない (わかりにくい)
- ⑦よくない (いやだ)

■特徴を浮き彫りにする10の質問 (1/2)

- 理解のためにどこに着目すべきか？ ※視点
- どこから始めればいいのか？ ※起点
- 最低限押さえるべきことは？ ※範囲の限定
- 覚えやすくするには？ ※記憶の工夫
- やらないことは？ ※省略・回避

■特徴を浮き彫りにする10の質問 (2/2)

- ・何が（どんなとき）厄介なのか？ ※問題
- ・それでどうよくなるのか？ ※手段の効用
(どんなとき、何が、どれぐらい)
- ・なぜそうなっているのか？ ※仕組み・仕様
- ・ほかのやり方ではダメか？ ※代替手段
- ・トレードオフをどうするか？ ※二律背反

■流れを意識して 構成を考える

- 起承転結
- 序破急
- ヒーローズ・ジャーニー（神話の法則）
- ハリウッド式三幕構成
- PREP（Point, Reason, Example, Point）／
AREA（Assertion, Reason, Evidence or Example, Assertion）
- 問題提起→原因分析→解決策 ※『職場の問題地図』など
- BEAF（Benefit, Evidence, Advantage, Feature）
- FUD（Fear, Uncertainty, Doubt）→希望

■ドラえもんメソッド

- ①ふりかかる問題（ジャイアン）
- ②こうしたい・こうなりたい（泣きつき）
- ③理想と現実つなげるための要件（前ふり）
- ④要件を実現する手段（秘密道具）
- ⑤手段を実行する方法（道具の使い方）
- ⑥手段を実行した結果（のび太勝利）
- ⑦手段の副作用・トレードオフ（ジャイアン逆襲）
- ⑧教訓（ドラえもん締め）

■目次の演出を考える

- 全体における見出しのタイプの比率を調整する
(要約、メリット訴求、リスク訴求、問いかけ、あるある、メッセージ など)
- 統一感を出すか、出さないか
(マニュアルなら統一、読み物なら変化を)
- 用言止め、体言止めを使い分ける
- 見出しが入る頻度を調整する

■ 「わかりやすい文章」の 品質基準（ルール）を守る

- ①読点を十分に入れる
 - ②難しい表現をなくす
 - ③漢字の比率を約30%以下にする
 - ④表記、品詞、主述の対応をそろえる
 - ⑤1文を短くする／修飾関係をシンプルにする
 - ⑥重複をなくす／置き換える
 - ⑦接続詞をきちんと入れる
 - ⑧流れやバランスを意識して改行する／段落をおこす
 - ⑨省略／後回しにする
 - ⑩具体例を挙げる
- ※たとの利用は要注意

■ 欠陥をどこまで減らせるか

- 「製品の品質は欠陥の有無とほとんど関係がない」
(トム・デマルコ)
- とはいえ、神は細部に宿る

Slack

Getting Past Burnout, Busywork, and the Myth of Total Efficiency

Tom DeMarco

Translated by Yumi Izuhara



ゆとりの法則

誰も書かなかったプロジェクト管理の誤解

トム・デマルコ

伊豆原弓訳

日経BP社

■校正あるある

- ・大きな文字ほど見落とす
- ・何度も読んでも見落とす
- ・複数人で見ても見逃す
- ・じっくり読まないから見落とす
- ・じっくり読みすぎるから見落とす
- ・内容がいいほど見落とす
- ・人のミスには気づくのに自分のミスは見落とす

■修正の落とし穴

①修正すべきところを見逃す

→転記もれ／スタイルや変更の反映もれ

②修正の影響範囲を見誤る

→他ページ、キャプション、目次、柱、索引など

③修正自体のまちがいを見逃す

→一貫性がない／ルールと異なる／直さなくていいのに手を入れてしまう

■ バイアスを意識して ゆとりをつくる

- ・ 回数を増やす
- ・ インターバルを長く取る
- ・ 見る目を増やす
- ・ 機械的な確認に頼りつつも過信しない

■レビューをお願いするときの 注意点

- ①親しい方をお願いする
- ②配慮のうえで遠慮はしないで指摘してもらおう
- ③ある程度の完成度になってからお願いする
- ④問題は教えてもらえなくても原因は教えてもらえないことを覚悟する
- ⑤誤植の指摘は期待しない

- ①価値の源泉を探す
- ②時間と向き合う
- ③コンテンツを磨く
- ④魅力を伝える
- ⑤価値を育てる

■品質が意味をなすまでの プロセスに関わる

- ・タイトル／コピー
- ・デザイン
- ・プライシング
- ・プロモーション

■タイトルの要件

●読みたくなる

- ・メリットが明確になっている
- ・自分でもできると思える
- ・共感できる
- ・自分ごとに思える
- ・新規性がある

(要件すべてに関係)

●知ってもらいやすい

- ・目的の棚に置かれやすい
(意図しない棚に置かれない)
- ・検索キーワードにヒットしやすい
- ・覚えやすい／思い出しやすい
(そのために省略しやすい)

■ キーワードと3つの観点をふまえて考える

- ・ 「こんな悩みを」 = 問題
- ・ 「こんな仕掛けで解決して」 = コンセプト
- ・ 「こういう価値を提供します」 = メリット

何をメインにするかを考える

■問題提起型

- スペースキーで見た目を整えるのはやめなさい
(若手の担当)
- ・命令形だけど共感される
- ・あえてキーワードを外す

「スペースキー
で見た目を
整えるのは
やめなさい」

8割の社会人が見落とす
資料作成のキホン

“内容”がよくても
評価されないのはなぜ？

ホントに生産性をあげるWord・Excelの使い方がわかる!

Windows 10

Office 365 対応

四禮静子

SHIREI SHIZUKO

■コンセプト型

●職場の問題地図

- ・第一印象をそのまま言葉に
- ・ITサービスマネジメントの専門知を一般の方々へ届ける越境



「で、どこから変える？」
残業だらけ・
休めない働き方

職場の問題地の



沢渡あまね

「来月から残業ダメだからね、仕事の量は減らせないけど」
「えっ、どうすれば？」
「なんとかして、よろしく」

“あるある”と愚痴るだけでなく、
原因と全体像を押さえれば、
改善への道が見えてくる！



「Excelぐらい、まあなんとかなるよ」

……そういつつ、
作業に何時間もかかってイライラしたり、
いつもミスをして時間をムダにいませんか？

たった1日で 即戦力になる Excelの 教科書

■ メリット訴求型

- たった1日で即戦力になる
Excelの教科書
 - ・ 「1日で実務直結」の
実績を活かす
 - ・ 棚を越境したヒットに

■ 誰のためのデザイン？

- 目にとめてもらう
- 気に入ってもらおう、記憶に残りやすくする、
勧めやすくする
(読者／著者／営業／書店)
- 読みやすくする

■文字だけでソリッドに

●急成長を導くマネージャーの型 (遠藤陽一さん)

- ・1色で潔く
- ・紙でアクセントをつける

急成長を導く マネージャーの型

地位・権力が通用しない時代の
“イーブン”なマネジメント 長村禎庸

マネジメントは
経験でも
センスでもない、
フレームワークを
実行するのみ

数字の話ばかりで、
仲間も自分も
疲弊させてしまう。
メンバーを犠牲にして
残した成果は、
持続性のない、偽物ではないか？

数々の失敗から学び、
小さなベンチャー企業を上場まで導いた
プロフェッショナルマネージャーのノウハウを二挙公開

■ イラストで 世界を表現

● 2060未来創造の白地図 (Bookwallさん、六七質さん)

- 文字だけで体現できない
イマジネーションを補完
- 加工したように見える帯
でさらにアクセントを



■ 写真で 惹きつける

● 「いい写真」はどう
すれば撮れるのか？
(戸倉巖さん)

- 写真を活かせる方に
- 執筆前に写真を決定
- カラーでなくていい

「いい写真」は どうすれば撮れるのか？

プロが機材やテクニック以前に考えること



Nakanishi Yusuke

中西祐介

いいカメラを使えば「いい画質」にはなるけど、「いい写真」になるとは限らない。
どんなに高性能なカメラでも、「何に向き合い、
何を感じて、どのタイミングで撮るのか」は教えてくれない。

■最適な判型を選ぶ

●四六

(128mm×188mm)

→ビジネス書、「ポケットリファレンス」シリーズなどハンディに

●A5 (148mm×210mm)

→技術系読み物、リファレンスなどオールマイティ

●B5変形

(182mm×230mm)

→プログラミング本でコードの折り返しを少なくしたい、デザイン本など画面を大きく見せたい場合

※ほかにもさまざま

■ ページごとの見せ方・情報量を 決める

- 横組み／縦組み
- 色数（1色／2色／4色）
- 文字数（1行の文字数×1ページの行数）
- 見出しの行どり
- 図版のサイズ
- 余白の取り方

■紙を選ぶ

- 読書のUXを支えるハードウェア、それが紙
- カバー用紙はデザイナーさんが、本文は編集側で決めることが多い
- 電子書籍はPDF／リフローの選択（提案）がほとんど

■本文用紙の品質 9つのポイント

①色のり

(塗工／微塗工／非塗工)

②白色度／コントラスト

(クリーム系を使うかどうか)

③やわらかさ

(めくりやすさ)

④軽さ

⑤耐久性 (変色しにくさ)

⑥裏抜けしにくさ

⑦厚み (束幅の出しやすさ)

⑧コスト

(単価と重さと束幅の兼ね合い)

⑨手に入りやすさ

(増刷に備えて)

■全体最適となる価格を考える

- 原価
- 収益率／期待収益
- 競合
- 価格弾力性
- リスク認識

■プロモーションを検討する

- ・ 献本
- ・ 店頭POP／パネル
- ・ 推薦文
- ・ メディア露出（のためのプレスリリース）
- ・ メディア転載
- ・ PR記事掲載
- ・ 電子版先行リリース
- ・ 出版記念イベント
- ・ SNSでの発信／拡散
- ・ 特典付与

■ 営業を支援する (POP、パネル)

“なんでうちの会社のことが書いてあるの？”

沢渡あまね『職場の問題地図』



シリーズ累計 / “あるある”すぎて反響続々!

25万部突破

「オンラインだと気軽だからって、無駄な会議ばかりで疲れるんですけど！」

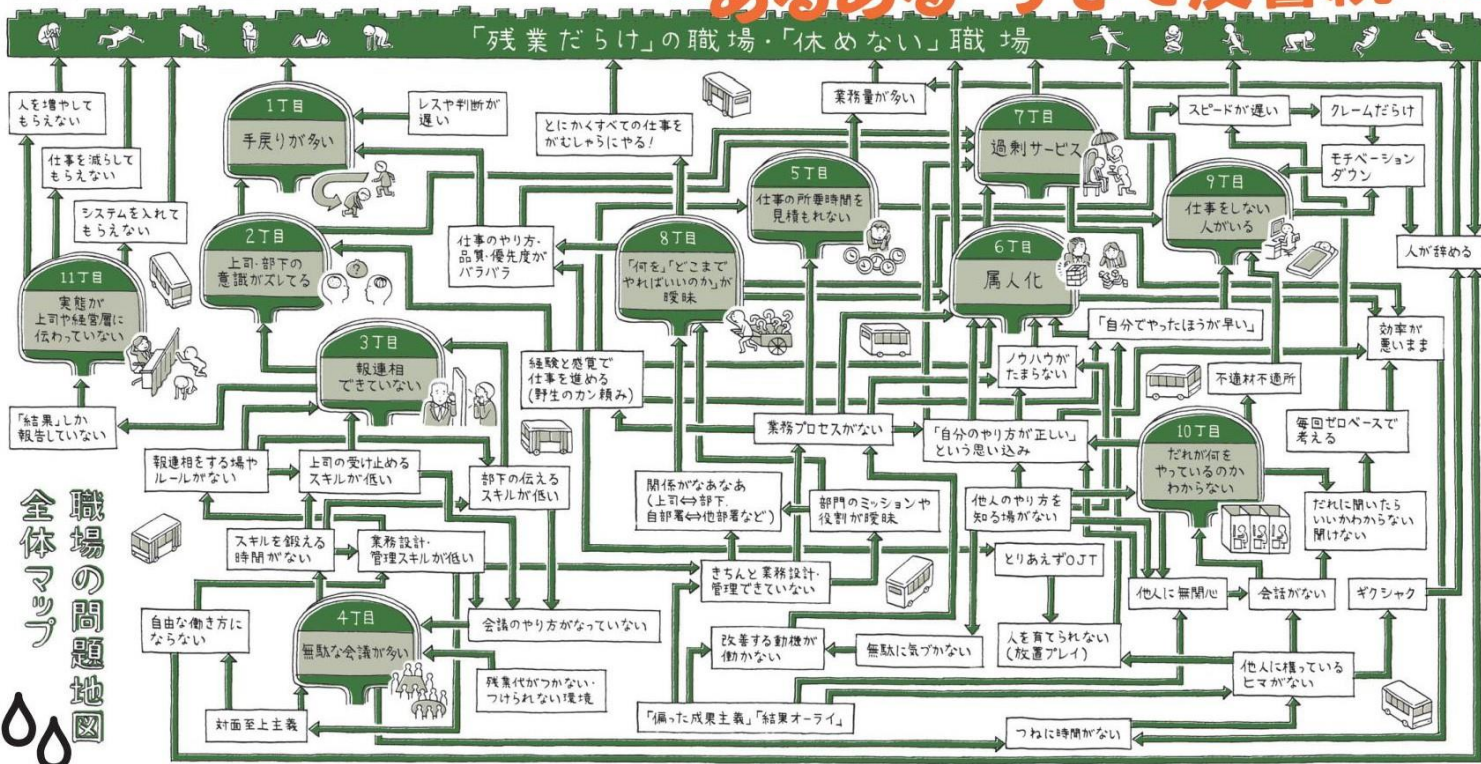
「テレワークだから所要時間の見積もりが狂う…って、前からそうか」

「あの人、在宅勤務になったとたんにレスが遅くなって、絶対仕事してないよね…」

“なんでうちの会社のことが書いてあるの？”

沢渡あまね『職場の問題地図』

“あるある”すぎて反響続々!



「オンラインだと気軽だからって、無駄な会議ばかりで疲れるんですけど！」
「テレワークだから所要時間の見積もりが狂う…って、前からそうか」
「あの人、在宅勤務になったとたんにレスが遅くなって、絶対仕事してないよね…」

シリーズ累計 / 25万部突破

- ①価値の源泉を探す
- ②時間と向き合う
- ③コンテンツを磨く
- ④魅力を伝える
- ⑤価値を育てる

■アップデートで 実績を伸ばす

JavaScript本格入門

- ・ 2010年→初版
- ・ 2016年→2版
- ・ 2023年→3版

“とりあえず動く”で立ち止まらず、
古びない本質を習得するために。

[改訂 3 版] モダンスタイルによる基礎から
現場での応用まで

JavaScript

本格入門

山田祥寛
Yoshihiro Yamada

100,000部突破 のベストセラー

日本で1番売れているJavaScriptの本※が、
7年ぶり、約4割増の大幅増補改訂。

※2016年1月～2022年12月 売上冊数
紀伊國屋書店チェーン 第1位(Webプログラミング)
丸善ジュンク堂書店チェーン 第1位(Web技術)

技術評論社

■改訂 + さらに変化をつけて 売り伸ばしにつなげる

「Excel」ぐらゐ、まあなんとかなるよ」
……そういつつ、作業に何時間もかかってイライラしたり、いつもミスをして時間をムダにしていませんか？

吉田拳 YOSHIDA KEN

たった1日で
即戦力になる
Excelの
教科書

「Excel」ぐらゐ、まあなんとかなるよ」
……そういつつ、作業に何時間もかかってイライラしたり、いつもミスをして時間をムダにしていませんか？

吉田拳 YOSHIDA KEN

たった1日で
即戦力になる
Excelの
教科書

10万部突破!

日本で一番
売れているExcelの本

技術評論社

吉田拳 YOSHIDA KEN

たった1日で
即戦力になる
Excelの
教科書

Excel 2019 / 2016 / 2013 & Office 365 対応
バージョンを
問わず使える
考え方と
テクニックを
集大成

[増強完全版]

シリーズ累計
35万部
伝説の1冊を全面リニューアル

歴史を塗り替えた

技術評論社

吉田拳 YOSHIDA KEN

たった1日で
即戦力になる
Excelの
教科書

[増強完全版]

急いで作業しなくても、
仕組みを作れば
ラクできます

あちこち寄り道して勉強しないで大丈夫。
成果を出すための「最小限」を教えます。

技術評論社

急いで作業しなくても、
仕組みを作れば
ラクできます

COUNTA
SUMIF
COUNTIF
VLOOKUP



■点を面に展開する① (本格入門シリーズ)

“わかった気”で終わるのではなく、きちんと動くモノを作るために。

便利さの裏にある仕組みを理解し、最適な方法で目的を達成するために。

多様化していくデバイスの現状に適応し、最善の方法で制作を進めるために。

デザインの効率と操作性を追求する——より機能的でエキサイティングなアプリ設計のために。

“とりあえず動く”で終わらせず、理想のマクロを実現するために。

モダンスタイルによる基礎から Ajax・jQueryまで

JavaScript 本格入門

山田祥寛 Toshihiro Yamada

JavaScript開発・デザイン効率化の基礎から Ajax・QUnitまで

jQuery 本格入門

沖林正紀 Masanori Okibayashi

スマートフォンのデザイン・開発の効率化から Webアプリケーション構築まで

jQuery Mobile 本格入門

沖林正紀 Masanori Okibayashi

ストアアプリのUI/UX・実装・テストまで [Windows 8.1 対応版]

Windows8 プログラミング 本格入門

太田一郎 Ichiro Ota

日常業務の自動化から アプリケーション開発まで

Excel VBA 本格入門

大村あつし Atsushi Omura

“動けばいい”で済ませるのではなく、効率的で品質の高いコードを書くために。

コンピュータやOSの仕組みを理解し、高速で自由度の高いプログラムを作るために。

自由度の高さに甘えず、「あるべき姿」を実現するために。

強く、しなやかな Webアプリケーションを実現するために。

モダンスタイルによる基礎からオブジェクト指向・実用ライブラリまで

Java 本格入門

谷本心 阪本雄一郎 岡田拓也 秋葉誠 村田賢一郎

基礎知識からコンピュータの本質まで

C言語 本格入門

種田元樹 Motoki Taneda

プログラミングとオブジェクト指向の基礎からデータベース連携まで

PHP 上 本格入門

大家正登 Masato Oie

オブジェクト指向設計、セキュリティ、現場で使える実践ノウハウまで

PHP 下 本格入門

大家正登 Masato Oie

点を面に展開する② (問題地図シリーズ)

職場の問題地図

「で、どこから変える？」
残業だらけ、
休めない働き方

沢渡あまね

「来月から残業ダメだからね、仕事の量は減らせなくて」「えっ、どうすれば?」「なんとかして、よろしく」「あるある」と悲願だけでなく、原因と全体像を押さえれば、改善への道が見えてくる!

累計12万部の人気シリーズ、最新刊!

「職場の問題地図」に続く働き方改革のバイブル!

仕事の問題地図

「で、どこから変える?」
進捗しない、
ムリ・ムダだらけの働き方

沢渡あまね

「この仕事、今日中に片づけておいて」「えっ、こんなにたくさん、どうすれば?」「気合だ!」

大好評「職場の問題地図」に続く働き方改革のバイブル!

働き方問題地図

「で、どこから変える?」
旧態依然の職場の常識

沢渡あまね+奥山 睦

「給与突然、要介護状態に」「上司や部下が外国人」「育休後に仕事復帰したけど、毎日が開渡り……ないですか?」

累計12万部の人気シリーズ、最新刊!

「職場の問題地図」に続く働き方改革のバイブル!

システムの問題地図

「で、どこから変える?」
使えないITに振り回される
悲しき景色

沢渡あまね

「人工知能で生産性を劇的に向上!」「……なんて、いまのままじゃ絶対無理ですよ!」

累計15万部の人気シリーズ、最新刊!

感情の問題地図

「で、どう整える?」
ストレスだらけ、
モヤモヤばかりの
仕事の心理

関屋裕希

累計17万部の人気シリーズ、最新刊!

「いつもいつも雇用押つけやがって」「もう少しがんばればうまくいったかもしれない」「こんなんじゃ評価が下がるとは思わなかった」

怒り、悲しみ、落ち込み、不安とうまくつきあうには?

マネージャーの問題地図

「で、どこから変える?」
あれもこれも、
てんやわんやな
現場のマネジメント

沢渡あまね

「予算目標は達成し」「部下のモチベーションも上げる」「残業させるな」

累計18万部の人気シリーズ、最新刊!

「予算目標は達成し」「部下のモチベーションも上げる」「残業させるな」

いったいどうすりゃイイんですか?!

異文化理解の問題地図

「で、どこから変える?」
グローバル化できない
職場のマネジメント

千葉祐大

「言ったことをやってくれない!」「自分のことしか考えない!」「突然辞める」日本の「常識」は通用しない、じゃあどうすりゃイイんですか?!

累計21万部の人気シリーズ、最新刊!

営業の問題地図

「で、どこから変える?」
いつまで経っても
成長しない営業マン
と営業チーム

藤本篤志

「成果が出ないって、努力が足りないだけでしょ!」「命懸けで頑張ってる人じゃない?」「マネジメント?自分のノルマを達成するまで一杯だよ!」前を見ても横を見ても問題だらけ、じゃあどうすりゃイイんですか?!

累計21万部の人気シリーズ、最新刊!

業務改善の問題地図

「で、どこから変える?」
進まない、続かない、
だれとく改善?」

沢渡あまね
元山文菜

「改善しなければ」とただ願っているだけ。体形も細くならない。予算も時間も与えられない。当然、評価もされない。古いやり方に固執していつまでたってもアップデートされない組織、どう変えていけばイイんですか?!

累計24万部の人気シリーズ、最新刊!

文章の問題地図

「で、どこから変える?」
伝わらない、時間ばかり
かかる書き方

上阪徹

「書くのがつらい、苦手」「書くのが好きじゃなくてもうまく書けない」「文章は書けなくて、あんなに早く書ける人、なんで?」「これじゃダメです。早く教えてください!」

累計25万部の人気シリーズ、最新刊!

「書くのがつらい、苦手」「書くのが好きじゃなくてもうまく書けない」「文章は書けなくて、あんなに早く書ける人、なんで?」「これじゃダメです。早く教えてください!」

これじゃダメです。早く教えてください!

■本ではない プロダクトへ

●職場の問題かるた

- ・人気声優の戸松遥さんに読み上げを依頼
- ・『職場の問題地図』『仕事の問題地図』の実績があってこそこのチャレンジ

「言える化」して
モヤモヤ解決！

職場の問題かるた

働き方改革の
最終兵器！

「職場の問題地図」
「仕事の問題地図」
から生まれた、

ベストセラーシリーズ

沢渡あまね
イラストレーション: 白井 匠

技術評論社

き あ ぬ け こ お
し ま は ら て よ ろ う す
根性 気合

●おわりに

■ 「なんでPC書じゃない本をつくってるの？」

- PC書（の棚）では届かない読者および著者にリーチする
- テクノロジーの影響範囲を最大限扱う
- 読者のあらゆる問題解決に寄与する
- PC書と違う文法を取り入れPC書を刷新する

■ ホームがあるから 越境できる

- ・ 自分の「いい」を疑い、
見直し、信じる
- ・ いろいろな人に聞いて、
三角測量する

新時代を生き抜く

越境思考

組織、肩書、場所、時間から
自由になって成長する

新たな

現状維持では衰退するだけ

“勝ちパターン”を創ろう

複業・
パラレルキャリア

女性活躍・
ダイバーシティ

ワーケーション

地方創生

DX
デジタルトランス
フォーメーション

「いままでのやり方に限界を感じている」
すべての人へ

■小さな挑戦、1つの出会いから 「相互理解で広がる世界」へ

- ・分野／組織を越える
- ・常識を越える

最後までありがとうございました

●参考資料

■編集の考え方・実践の参考

- ・ AJEC（日本編集制作協会）編集教室レポート

http://www.ajec.or.jp/special_interviews_archive/

- ・ 編集 -悪い本ほどすぐできる 良い本ほどむずかしい-

<https://pie.co.jp/book/i/4822/>

- ・ いつもよりも具体的な本づくりの話を。

<https://www.eastpress.co.jp/goods/detail/9784781621043>

■校正の参考

- ・校正のこころ 増補改訂第二版: 積極的受け身のす
すめ

<https://www.sogensha.co.jp/productlist/detail?id=4252>

- ・文にあたる

<https://www.akishobo.com/book/detail.html?id=1074>

■品質の考え方の参考

- ・ゆとりの法則

<https://bookplus.nikkei.com/atcl/catalog/01/P81110/>

- ・闘うプログラマー [新装版]

<https://bookplus.nikkei.com/atcl/catalog/09/P47570/>

- ・ライト、ついてますか？

<https://www.kyoritsu-pub.co.jp/book/b10011450.html>

■デザインの参考

- ・ 装丁家坂川栄治氏が明かす意外なデザイン術

<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/52530>

- ・ カバーデザインはこうして決まった
『FACTFULNESS（ファクトフルネス）』編集つ
ぶやき

<https://note.com/hiromi/n/n27f949108309>

■本スライドの補完

- ・編集の価値をつくるための超基本

https://www.docswell.com/s/dentomo/KWR2X5-20200915_shokyo

- ・1日8時間足らずでだいたい年18本企画して10冊
つくる進捗のしくみ

<https://www.docswell.com/s/dentomo/ZR81GK-2022-03-22-133417>